病態制御医学講座 腎臓病態内科学 1. 領域構成教職員 · 在職期間

11 lbc. ha lll tha for loane		7771-7	
教授	遠山	直志	令和6年4月1日~
准教授	糟野	健司	平成20年9月~平成24
助教(診療准教授)	髙橋	直生	年9月 <u>平成24年10月</u> 平成16年7月~(平成 25年10月~)(令和元
			年10月~)
非常勤医師	福島	佐知子	平成25年4月~平成31 年3月 平成31年4月~ 令和2年3月 令和2年4 月~
助教	小林	麻美子	平成26年4月~平成27 年8月 平成28年4月~ 令和3年3月 令和3年4 月~令和4年3月 令和 4年~
特命助教(大学院生)	西川	雄大	平成26年4月~平成28 年3月 平成29年4月~ 令和4年3月 令和4年 4月~
特命助教(大学院生)	西森	一久	平成29年4月~令和5年 3月 令和5年4月~
医員	渡邉	佑衣	令和5年4月~
医員	坂下	紗弓	令和2年4月~
医員(大学院生)	西川	翔	令和3年4月~

2. 研究概要

- 1) 個別化医療の実現を目指し、ビッグデータを対象とした機械学習手法を用いて、個々の患者に最適な治療法を選択できるリスク分類器の開発を進めている。優れた臨床医の視点を臨床に応用し、診療ガイドラインを補完する個別化医療の研究が主要な柱である。 2) 酸化ストレスを標的としたチオレドキシン(TRX)の研究を行っており、腎臓のレドックス制御破綻による腎障害のメカニズム解明と、TRXを用いた診断法や安全
- 性の高い治療薬の開発を進めている。
- 国の開いたが集後の開発を進めている。 3) 2017年にJASNで報告したIgMPC-TIN (IgM陽性形質細胞を伴った尿細管間質性腎炎) という新たな疾患概念の確立に取り組んでおり、全国から症例を集積して分類 基準の作成、病態解明、予後解析、診断マーカーや疾患活動性マーカーの探索を行っている。 4) 集中治療における血液浄化療法の改良として、再循環経路を有する新しい持続的血液ろ過透析法(CHDF-R)の開発を行い、治療困難な重症患者の救命や医療費削
- 減を目指した研究を進めている。

・ 個別化医療、機械学習、ビッグデータ解析、リスク分類器、酸化ストレス、チオレドキシン、レドックス制御、IgMPC-TIN、尿細管間質性腎炎、IgM陽性形質細胞、持 続的血液ろ過透析、CHDF-R、血液浄化療法、診断マーカー、疾患活動性マーカー

章籍年の准捗状況

- 不機士化医療研究では、地域健康学講座との連携によりビッグデータ解析に着手し、機械学習を用いた患者個別の治療選択システムの開発を進めている。
 2) チオレドキシン研究では、重篤な急性腎障害後の腎尿細管チオレドキシン持続的枯渇がG2/M細胞周期停止を介して慢性腎臓病への移行に関与することを明らかにし、Biochemical and Biophysical Research Communications誌に論文が採択された(PMID: 40023991)。この研究により、AKI-CKD移行におけるレドックス依存性機 序の解明が進展した。
- 3)1gMPC-TIN研究では、全国的な症例集積を継続し、日本腎臓学会のレジストリ研究に参画することで多施設共同による疾患データベースの構築と病態解明を推進し
- 4) 血液浄化療法研究では、新たな回路設計による持続的血液ろ過透析法(CHDF-R)の基礎研究を進め、従来法の課題解決に向けた技術革新を図っている。

やこの。 当科の研究は、機械学習とビッグデータ解析を活用した個別化医療の実現を最大の特色としている。優れた臨床医の診断・治療判断をAI技術で再現し、一人一人の息 者に最適化された次世代医療の開発を目指している。また、当科が世界で初めて報告したIgMPC-TINは国際的な腎臓病理学教科書にも掲載され、グローバルな注目を 集めている。チオレドキシンを標的とした腎保護療法や血液浄化療法の技術革新により、基礎から臨床まで幅広い研究領域で独創性の高い成果を上げている。

本学の理念との関係 本研究の機械学習による個別化医療は患者の病態本質を深く理解する「格致」の精神であり、新疾患発見やチオレドキシン研究により地域医療向上と国際的医学発展 に貢献している。

3. 研究実績

区分		編	数	インパクトファクター(うち原著のみ)		
		2018~2023年分	2024年分	2018~2023年分	2024年分	
和文原著論文		1	1		_	
	ファーストオーサー	8	0	24.433(24.433)	0(0)	
英文論文	コレスポンテ゛ィンク゛オーサー	8	2	23.606(23.606)	4.7(4.7)	
	その他	11	6	26.971(26.971)	30.7(30.7)	
	合計	20	8	54.979(54.979)	35.4(35.4)	

(A) 著書·論文等 (1) 英文:著書等

- b. 著書 (分担執筆)
- c. 編集·編集·監修

(2) 英文: 論文等 a. 原著論文(審查有)

24056

Sho Nishikawa, Kenji Kasuno, Kazuhisa Nishimori, Yuki Shimamoto, Yudai Nishikawa, Mamiko Kobayashi, Seiji Yokoi, Naoki Takahashi, Hideki Kimura, Takahiko Ono, Eri Muso, Haruyoshi Yoshida, Kaikobad Irani, Junji Yodoi, Fumihiko Namba, Masayuki Iwano, Tadashi Toyama: Prolonged depletion of renal tubular thioredoxin following severe acute kidney injury is associated with transition to chronic kidney disease via G2/M cell cycle arrest, Biochem Biophys Res Commun, 754, 151425, 20250325, D01: 10. 1016/j. bbrc. 2025. 151425, #2. 5

Hisayuki Ogura, Tadashi Toyama, Hikaru Samuta, Kohei Hirako, Tomoya Itatani, Shiori Nakagawa, Megumi Oshima, Shinji Kitajima, Akinori Hara, Norihiko Sakai, Miho Shimizu, Tomoyuki Takura, Takashi Wada & Yasunori Iwata: Relationship between kidney function and healthy life expectancy: A historical cohort study, BMC Nephrology, 26(1), 21, 20250113, DOI: 10.1186/s12882-024-24057

Shuhei Kidoguchi , Kunio Torii , Toshiharu Okada , Tomoko Yamano , Nanami Iwamura , Kyoko Miyagi , Tadashi Toyama , Masayuki Iwano , Ryoichi Miyazaki , Yosuke Shigematsu , Hideki Kimura: Fatty Acid β -Oxidation May Be Associated with the Erythropoietin Resistance Index in Stable Patients Undergoing Haemodialysis, Diagnostics (Basel), 14(20), 2295, 20241016, DOI: 10.3390/diagnostics14202295, #3 24058

業績一覧

- N. Iwasaki, J. A. Poposki, A. Oka, M. Kidoguchi, A. I. Klingler, L. A. Suh, J. Bai, W. W. Stevens, A. T. Peters, L. C. Grammer, K. C. Welch, S. S. Smith, D. B. Conley, R. P. Schleimer, R. C. Kern, B. S. Bochner, B. K. Tan, A. Kato: Single cell RNA sequencing of human eosinophils from nasal polyps reveals eosinophil heterogeneity in chronic rhinosinusitis tissue, J Allergy Clin Immunol, 154(4), 952-964, 20241001, DOI: 10.1016/j.jaci.2024.05.014, #11.4 24059
- Ueno M, Sugiyama H, Li F, Nishimura T, Arakawa H, Chen X, Cheng X, Takeuchi S, Takeshita Y, Takamura T, Miyagi S, Toyama T, Soga T, Masuo Y, Kato Y, Nakamura H, Tsujiguchi H, Hara A, Tajima A, Noguchi-Shinohara M, Ono K, Kurayoshi K, Kobayashi M, Tadokoro Y, Kasahara A, Shoulkamy MI, Maeda K, Ogoshi T, Hirao A: A Supramolecular Biosensor for Rapid and High-Throughput Quantification of a Disease-Associated Niacin Metabolite, Analytical Chemistry, 96(36), 14499-14507, 20240910, DOI: 10.1021/acs.analchem.4c02653, #6.7 24060
- Kohei Matsuta 1 24061
 - , Kazuko Kamiyama 1 , Toru Imamoto 1

 - Izumi Takeda 1
 - Shinya Masunaga 1 Mamiko Kobayashi 2
 - Naoki Takahashi 2
 - Kenji Kasuno 2 Masanori Hara 3

 - Masayuki Iwano 2 Tadashi Toyama 1,2
 - , raduatin royalma 1,2, *: PPAR- α Insufficiency Enhances Doxorubicin-Induced Nephropathy in PPAR- α Knockout Mice and a Murine Podocyte Cell Line, Cells, 13(17), 1446, 20240828, DOI: 10.3390/cells13171446., #5.1
- 原著論文(審査無)
- 全集)
 Takeshi Terashima 1,*, ORCIDHidenori Kido 1,Noboru Takata 1,Tomoyuki Hayashi 1,Akihiro Seki 1, ORCIDHidetoshi Nakagawa 1,
 ORCIDKouki Nio 1, ORCIDTadashi Toyama 2, ORCIDNoriho Iida 1,Shinya Yamada 1,Tetsuro Shimakami 1,Hajime Takatori 1,Kuniaki Arai
 1,Tatsuya Yamashita 1,Eishiro Mizukoshi 1 andTaro Yamashita 1: Phase II Study of Atezolizumab and Bevacizumab Combination
 Therapy for Patients with Advanced Hepatocellular Carcinoma Previously Treated with Lenvatinib, cancers, 17(2), 278, 20250116,
 DOI: 10.3390/cancers17020278 (症例報告), #4.5 24062
- Takeshi Terashima1, Kouki Nio1, Naohiko Koshikawa2, Makoto Ueno3, Tadashi Toyama4, Masaki Miyazawa1, Tomoyuki Hayashi1, Akihiro Seki1, Hidetoshi Nakagawa1, Noriho Iida1, Shinya Yamada1, Hajime Takatori1, Tetsuro Shimakami1, Toru Yoshimura5, Eisaku Yoshida5, Masatoshi Nakagawa2,5, Motoharu Seiki6 and Taro Yamashita: Serum laminin γ2 monomer as a novel diagnostic and prognostic marker for pancreatic ductal adenocarcinoma, BJC reports, 3(1), 2, 20250114, DOI: 10.1038/s44276-024-00116-z 24063
- c. 原著論文(総説)
- d. その他研究等実績(報告書を含む)
- e. 国際会議論文
- (3) 和文:著書等
- a.
- b. 著書 (分担執筆)
- c. 編集·編集·監修
- (4) 和文: 論文等 a. 原著論文(審查有)
 - 24064 - THO 大武、髙橋直生、法木左近: 30症例によるホスラブコナゾールL-リシンエタノール付加物(ネイリン?カプセル)内服中の腎機能の検討, 日本臨床皮膚科医会雑誌、41(3)、451-458、20240415、DOI: 10.3812/jocd.41.451
- b. 原著論文 (審査無)
- d. その他研究等実績(報告書を含む)
- e. 国際会議論文
- B) 学会発表等 (1) 国際学会
- a. 招待·特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演(口演)
- Kazuhisa Nishimori, Kenji Kasuno, Naoki Takahashi, Fumihiro Nishimura, Yuki Shimamoto, Hideki Kimura, Masayuki Iwano: Anti-Clogging Effect of Continuous Hemodiafiltration with Blood Recirculation, ASAIO 70th Annual Conference, 20240530, ASAIO 2024 24065 70th Annual Meeting Abstracts, 70(Suppl3), 202405
- Kazuhisa Nishimori, Kenji Kasuno, Naoki Takahashi, Fumihiro Nishimura, Yuki Shimamoto, Hideki Kimura, Masayuki Iwano, Tadashi Toyama: Continuous hemodiafiltration with blood recirculation prevents blood clotting, Kidney Health In Aging and Aged Societies, JSN/ERA Symposium Collaboration with JSDT, 20240914 24066
- d. 一般講演 (ポスター) 24067 Naoki Takahashi: IgM-positive plasma cells in lip biopsy specimens from patients with IgMPC-TIN, Kidney Week 2024, San Diego,
- e. 一般識演
- f. その他
- (2) 国内学会 (全国レベル) a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- 久田 恭子、菅原 紀里、嶋田 章弘、飛田 征男、酒巻 一平、岩崎 博道、木村 秀樹、遠山 直志: Diagnostic Stewardship:DSの実践をする ために『DSの実践:検査後プロセス』、第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会、名古屋市、20250126、日本臨床微生物学会雑誌、 24068 35 (Suppl. 1), 20241225

一般講演 (口演)

- 四中 雄大、菅原 紀里、久田 恭子、嶋田 章弘、飛田 征男、遠山 直志、岩崎 博道、酒巻 一平: BD血液培養ボトルの出荷調整における福井大学医学部附属病院での対応、第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会、名古屋市, 20250125, 日本臨床微生物学会雑誌, 24069 35 (Suppl. 1), 334, 20241225
- 遠山直志,清水美保,岩田恭宜,林晃正,阿部雅紀,豊田雅夫,大田聡,越智雅彦,佐藤英一,岩井秀典,西村謙一,持田陽司,植田喜一郎,肥田英明,大木絵美,和田隆志: 2型糖尿病合併の保存期腎性貧血患者に対する糖脂質代謝へのvadadustatの影響に関する探索的研究,第68回日本腎臓学会学術総会,20250621 24070
- 涼 孝介、菊田 健一郎、有島 英孝、松田 謙、磯崎 誠、東野 芳史、山内 貴寛、赤澤 愛弓、山田 真輔、川尻 智士、芝池 由規、大岩 美都妃、山田 慎太朗、木村 智輝、呉山 智理、 飛田 征男、遠山 直志: 微小血管減圧術におけるABRの刺激頻度40Hzの有用性、第24回日本術中画像情報学会、福井市、20240706 24071
- 村松知恵子, 西森一久, 糟野健司, 渡邉佑衣, 西川 翔, 西川雄大, 小林麻美子, 福島佐知子, 高橋直生, 遠山直志: 維持透析患者への抗菌 薬投与によるビタミンK欠乏症を背景とした血腫形成と重症貧血の一例, 第70回日本透析医学会, 大阪市, 20250629 24072
- 遠山直志,清水美保,岩田恭宜,林晃正,阿部雅紀,豊田雅夫,大田聡,越智雅彦,佐藤英一,岩井秀典,西村謙一,持田陽司,植田喜一郎, 肥田英明,大木絵美,和田隆志:2型糖尿病合併の保存期腎性貧血患者に対する糖脂質代謝へのvadadustatの影響に関する探索的研究,第68回 日本腎臓学会学術総会,横浜市,20240621 24073

一般講演(ポスター)

- ヘラー/ 高橋 直生、西川 雄大、岩村 菜々美、松田 航平、糟野 健司,木村 秀樹、遠山 直志: 64Cu-ATSM PET/MRIによる腎血流(RBF)の評価,第71回 日本臨床検査医学会学術集会,大阪市,20241130,日本臨床検査医学会誌,72(補冊),229,20241031 24074
- 松田 航平、上山 和子、今本 徽、黒瀬 知美、髙橋 直生、原 正則、遠山 直志、木村 秀樹: PPAR-α 欠損は、ドキソルビシン誘導性の糸球体障害と効果を憎悪させる一欠損マウスの解析から一,第71回日本臨床検査医学会学術集会, 大阪市、20241130,日本臨床検査医学会誌、72(補冊)、229、20241031 24075
- **湶 孝介、飛田 征男、遠山 直志: 術中モニタリング (ABR) におけるスポンジタイプのイヤホントラブル症例, 第54回日本臨床神経生理学** 24076 会. 札幌市. 20241025. 臨床神経生理学プログラム. 52(5). 644
- 松田航平: PPAR- α 欠損は、ドキソルビシン誘導性の糸球体障害と硬化を増悪させる 一欠損マウスの解析からー,第71回日本臨床検査医学会学術集会,大阪市。20241130 24077

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会(地方レベル) a. 招待・特別講演等

一般講演 (口演)

- 【編】 晃, 西森 一久, 糟野 健司, 渡邉 佑衣, 西川 翔, 西川 雄大, 小林 麻美子, 福島 佐知子, 高橋 直生, 多賀 峰克, 寺田 直樹, 遠山 直志: AB0不適合腎移植の脱感作療法中に発症した単純ヘルペスウイルス髄膜炎の一例, 第54回日本腎臓学会西部学術大会, 姫路 市, 20241006, 日本腎臓学会誌, 66(6), 1112, 20240920 24079
- 山本 壮仁,糟野 健司,西川 翔,小林 麻美子,渡邉 佑衣,西森 一久,西川 雄大,高橋 直生,福島 佐知子,遠山 直志:上皮下に連続性で帯状の高電子密度沈着物 (EDD) を認めた neural epidermal growth factor-like 1(NELL-1)陽性膜性腎症,第54回日本腎臓学会西部学術大会,姫路市,20241005,日本腎臓学会誌,66(6),1083,20240920 24080
- 八木 真暉, 西川 翔, 高橋 直生, 渡邉 佑衣, 西森 一久, 西川 雄大, 福島 佐知子, 小林 麻美子, 木村 秀樹, 糟野 健司, 岩野 正之, 遠山 直志: IgA腎症寛解期にネフローゼ症候群を呈し、生検で半月体を伴う溶連菌感染後急性糸球体腎炎と診断した一例, 第54回日本 腎臓学会西部学術大会, 姫路市, 20241006, 日本腎臓学会誌, 66(6), 1096, 20240920 24081
- 松山 泰己, 西川 翔, 西川 雄大, 高橋 直生, 糟野 健司, 内木 宏延, 村元 暁文, 小林 基弘, 遠山 直志: 特発性多中心性Castleman病による全身性AAアミロイドーシスによりネフローゼ症候群を来たした一例, 第54回日本腎臓学会西部学術大会, 姫路市, 20241006, 日本腎臓学会誌, 66(6), 1068, 20240920 24082
- 久田 恭子、飛田 征男、嶋田 章弘、遠山 直志、酒巻 一平: 超低出生体重児よりRhizopus microsporusが検出され、自施設にて薬剤感 受性試験を実施した一例, 第34回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会(第42回日本臨床検査医学会東海・北陸支部例会連合大会), 岐阜 市, 20240804, 第34回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会(第42回日本臨床検査医学会東海・北陸支部例会連合大会) プログラム・抄録 24083
- 清美、山野 智子、黒瀬 知美、杉本 充、圓道 麻利子、鈴木 孝二、遠山 直志: 当院で経験した胞巣型横紋筋肉腫2例についての 較、第63回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会第348回日本臨床化学会東海・北陸支部例会連合大会、名古屋市、20250302 24084
- 野村 亜希、大竹 由香、前田 文江、武田 泉、旭 ななえ、木戸口 周平、齋藤 清隆、新免 望、杉本 充、坪田 英里奈、大谷 悠 人、飛田 征男、木村 秀樹、遠山 直志: 当院における令和6年能登半島地震の被災地支援活動, 第34回日本臨床検査医学会東海・北陸支部 総会(第42回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会(第42回 日本臨床検査医学会東海・北陸支部網会連合大会), 岐阜市, 20240804, 第34回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会(第42回 日本臨床検査医学会東海・北陸支部網会連合大会) プログラム・抄録集 24085

d. 一般護演 (ポスター)

e 一般護演

f. 子の他

(4) その他の研究会・集会 a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

- グラスティア 高平、岩村 菜々美、山野 智子、宮城 恭子、宮崎 良一、重松 陽介、遠山 直志、木村 秀樹: 血液透析患者における脂肪酸 β酸化と造血動態との関連,第37回腎と脂質研究会,高松市、20250329,腎と脂質研究会プログラム抄録集, , 31, 20250301 24086
- 管原 紀里、久田 恭子、嶋田 章弘、飛田 征男、木村 秀樹、遠山 直志: 非結核性遅発育抗酸菌におけるブロスミックSGMの評価, 第48回北陸臨床病理集談会, 金沢市, 20240907, 第48回北陸臨床病理集談会プログラム・抄録集, 24087
- 岸本 葵、前田 文江、大竹 由香、野村 亜希、斎藤 清隆、木戸口 周平、坪田 英里奈、飛田 征男、木村 秀樹、高森 督、山田 就久、遠山 直志: 大腿ヘルニアとの鑑別を要した静脈瘤の1例,第9回こしのくにVenousForum,富山市,20241020,第9回こしのくにVenous Forum抄録集日本静脈学会中日本支部会, 24088

d. 一般謙演 (ポスター)

- e. 一般講演
- f. その他

(C) 特許等 区分 内容(発明の名称) 発明者又は考案者

(D) その他業績

4. グラント取得

745	SALTER SEA	777 (20)	BL -P-A-86
(A)	件价質	"你先	助成金等

<u>(A) 枓研費・研究即</u>									
区分	プロジェクト名	研究課題名		代表者名	分担者名	研究期間	金額	(配分額)	
区分	研究種目	課題名		代表者名	分担者名	研究期間	金額	(配分額)	
文部科学省科学研究費	若手研究	PET/MRIによる腎疾患	西川	雄大		20240401-20270331		¥1, 950, 000	
補助金		の酸化ストレスイメー							
		ジングとその病態解析							
文部科学省科学研究費	若手研究	PET/MRIによる腎疾患	西川	雄大		20240401-20270331		¥1, 950, 000	
補助金		の酸化ストレスイメー							
		ジングとその病態解析							
文部科学省科学研究費	基盤研究(C)	空間マルチオミックス	高橋	直生	木村 秀樹,糟野 健司	20230401-20260331		¥1, 560, 000	
補助金		や組織切片上シングル							
		セル解析を用いた							
		IgMPC-TINの病態解明							
文部科学省科学研究費	若手研究	機械学習を用いたCKD	遠山	直志		20240401-20250331		¥110, 939	
補助金		未病状態における新規							
		病型分類と治療効果							
文部科学省科学研究費	若手研究	機械学習を用いたCKD	遠山	直志		20240401-20250331		¥110, 939	
補助金		未病状態における新規						*	
		病型分類と治療効果							

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	積水メディカル株式会	活性化部分トロンボプ	杉本 充、遠山 直	20250314-20260331	¥300, 000
	社	ラスチン時間測定試薬	志、木村 秀樹、飛田		
		の基礎的、臨床的評価	征男、山野 智子、黒		
			瀬 知美、関口 清美		
共同研究	積水メディカル株式会	プロカルシトニン	武田 泉、増永 慎	20241210-20250930	¥520, 000
	社	(PCT) 測定試薬の臨	也、旭 ななえ、今本		
		床的実用性の検討	徹、敦賀 佳奈子、新		
			免 望、竹内 貴洋、		
			坪田 英里奈、遠山		
			直志		
共同研究	積水メディカル株式会			20250314-20260331	¥300, 000
	社	ラスチン時間測定試薬	志、木村 秀樹、飛田		
		の基礎的、臨床的評価	征男、山野 智子、黒		
			瀬 知美、関口 清美		

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
受託研究	株式会社ミズホメ ディー	C. difficile 検査 比較 臨床試験	遠山 直志	20241216-20250711	¥408, 980
受託研究	ベックマン・コール ター株式会社	Clostridioides difficile 核酸検出試 薬の性能検討	遠山 直志	20241202-20251231	¥330, 330
受託研究	WDBココ株式会社	慢性腎臓病 (CKD) 合 併高トリグリセライメ (TG) 血症患者を対ラー ト投与による腎機能 の影響の検証研究 (Japan Kidney Association- Pemafibrate Intervention for Chronic Kidney Disease patients Study: JKAPI-CKD study)	高橋 直生	20240520-20300331	¥0
受託研究	株式会社ミズホメ ディー	C. difficile 検査 比較 臨床試験	遠山 直志	20241216-20250711	¥408, 980
受託研究	ベックマン・コール ター株式会社	Clostridioides difficile 核酸検出試 薬の性能検討	遠山 直志	20241202-20251231	¥330, 330

 5. その他の研究関連活動

 (A) 学会開催等

 区分
 主催・共催の別
 学会名
 開催日
 開催地

(B) 学会の実績		
学会の名称	役職	氏名
日本腎臓学会	評議員	岩野 正之
アメリカ腎臓学会	編集委員	岩野 正之
日本腎臓学会	評議員、西部学術大会 会長	岩野 正之
日本内科学会	評議員	岩野 正之
日本内科学会	編集委員	岩野 正之
統計調査委員会	地域協力小委員会 調 査委員(福井)	糟野 健司
日本臨床腎移植学会	腎移植専門医	糟野 健司
日本アフェレシス学会	一般会員	糟野 健司
日本循環器学会	一般会員	糟野 健司
日本内科学会	認定内科医・総合内科 専門医・JMECCインス トラクター	糟野 健司
日本救急医学会	ICLSインストラクター	糟野 健司
日本移植学会	移植認定医	糟野 健司

業績一覧

日本腎代替療法医療専	腎代替療法専門指導士	糟野	健司
門職推進協会		della mon	
日本腎病理協会	臨床会員	糟野	健司
日本リウマチ学会	一般会員	糟野	健司
国際腎臓学会	一般会員	高橋	直生
アメリカ腎臓学会	一般会員	高橋	直生
日本透析医学会	一般会員	高橋	直生
日本透析医学会	専門医・指導医	糟野	健司
日本臨床検査医学会	一般会員	糟野	健司
日本高血圧学会	一般会員	糟野	健司
日本急性血液浄化学会	一般会員	糟野	健司
ヨーロッパ腎臓学会	一般会員	高橋	直生
日本腎臓学会	評議員	高橋	直生
日本腎臓学会	専門医・指導医・評議員	糟野	健司
危機管理委員会	医療安全対策小委員会 調査委員(福井)	糟野	健司
日本内科学会	一般会員	高橋	直生
国際アミロドーシス学 会	一般会員	高橋	直生
日本臨床検査医学会	一般会員	高橋	直生
日本腎臓学会	一般会員	高橋	直牛
多発性嚢胞腎協会	PKD認定医	高橋	直生
日本腎代替療法医療専門推進協会	腎代替療法専門指導士		直生
日本内科学会	一般会員	小林	麻美子
日本生化学学会	一般会員	小林	麻美子
日本腎臓学会	一般会員	小林	
日本透析医学会	一般会員	西川	
		1	orpa y 4
日本臨床化学会東海北陸支部	評議員	遠山	旦 志
日本リウマチ学会	北陸副支部長	遠山	直志
日本腎臓学会	腎臓専門医	遠山	
日本腎臓学会	指導医	遠山	
日本腎臓リハビリテー	代議員	遠山	
ション学会			
日本腎臓学会	腎臓専門医	西川	
日本腎臓学会	代議員	遠山	
日本臨床検査専門医会	一般会員	高橋	直生
日本リウマチ学会	腎臓専門医	西川	雄大

(C) 座長

<u> (0) Æ K</u>		
国内学会	学会名	氏名
(全国レベル)		
招待・特別講演等	第54回日本腎臓学会西	髙橋直生
	部学術大会	

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長(主査)・委員	氏名	査読編数
		の別		

(E) その他

6. 産業・社会への貢献 (A) 国・地域等への貢献 (1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

(1) 菩腰宝・安貝?	<u>辰"公益法人"芸任寺/</u>	丶の参加状況		
区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
	金沢大学附属病院	病院長補佐	•	20240501-20260331

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動 区分 | 活動名・活動内容 | 主催者・対象者等 | 氏名

(B) 国際貢献

国際協力事業					
活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名

- (C) その他業績
- (D) 特記事項